

# 一 般 質 問

広田 清 晴 議員

## イノシシ対策の強化を求める！



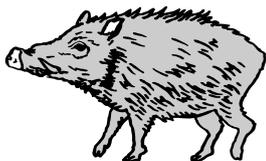
**問** イノシシ対策の現状と来年度の取り組み。

**答** 昨年、1,290 頭の捕獲委託料 790 万円、防護補助金 680 万円いずれも今年度は増額の状況（捕獲 1,320 万円防護 1,230 万円）将来的

な捕獲者の確保育成のため狩猟免許の補助の継続、講習会等今後も継続してゆく。

人家の近くの発見については農林課に連絡頂ければ猟友会に頼みくりわな等で対応してゆく。イノシシの相談窓口の設置については、今まで同様農

林課でお願いしたい。  
**問** 農業被害を抑える今後の補助対策は。



**答** 農作物被害を最小限に食いとめるには、面積・補助上限額の緩和策で対応したい。

**問** 全国の自治体病院は国の悪政のなか、運営が非常に厳しくなっている。医師・看護師と患者の信頼関係や、親切な対応が非常に大事。「赤字攻撃」克服のためにも、町立病院にふさわしい対応を求める。

**答** 各施設において意見箱の設置。公営企業局の広報の発行、研修会を通じて人材育成などを通じ、利用者家族の信頼を得るため、お客様に「親切な対応」が職員に徹底できるよう努力する。

特徴ある病院作りについては、核となる医師の確保が大事と考えている。

**問** 町からの繰入金を考えていくことが正常な公営企業局運営には必要。

**答** 公営企業局の努力ののち検討する。

平野 和 生 議員

## 急がれる砂防ダムの建設！ 燃油高騰に対する対策の充実を！



**問** 平成 23 年～ 25 年の 3 年間で起きた東日本大震災を除く、我が国での主な災害を見ると、19 件死亡、行方不明者 550 余名、建物等の被害は 2,500 件にのぼっている。

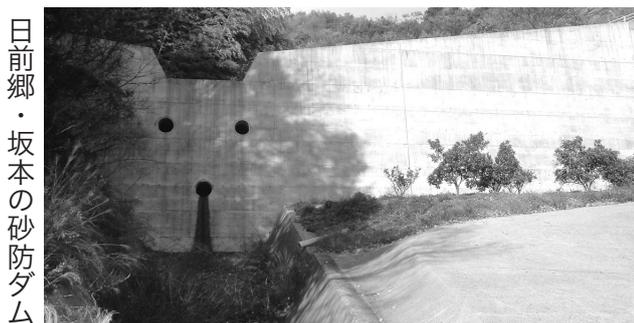
そうした災害を未然に防ぐ為にも新たな砂防ダムの建設が必要と考える。

**答** 県では、土砂災害対策として砂防ダムなどの土砂災害防止施設の整備を着実に推進しているところであり、今後も過去に土砂災害が発生した箇所や災害時要援護者関連施設・避難施設が立地する箇所など、危険度や緊急性の高い箇所から重点的・計画的に対策を進める。

**問** 漁業者、暖房機器を使用する農家、土木建設業者等燃油高騰に対して影響をうけている。このままでは、本町は疲弊してしまう。その対策を問う。

**答** 燃油価格の高騰により、農・漁家の経営を圧迫していることは十分理解している。引き続き、国や県に補助事業を要望していく。

土木建設業者への影響については、町が発注する公共事業において、ガソリン・軽油等の価格は、積算時の価格に計上している。



日前郷・坂本の砂防ダム